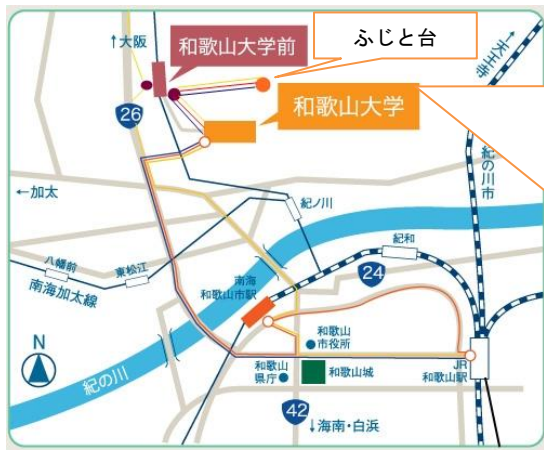


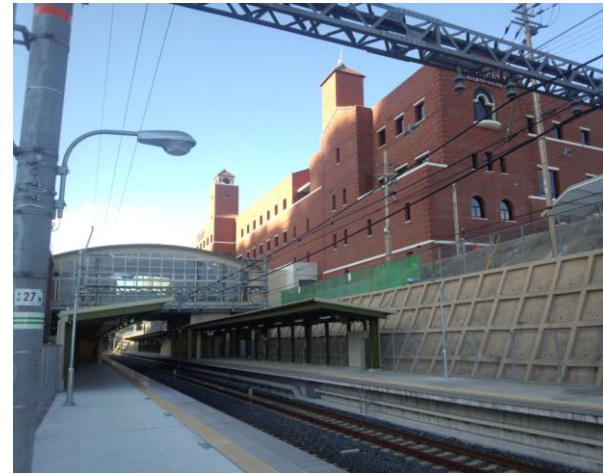
地方都市郊外における新駅開業に合わせた 大学・住民モビリティ・マネジメント —和歌山大学前駅の事例—

和歌山大学辻本研究室

1. 背景・目的



- ・平成 24 年 4 月に和歌山大学前(ふじと台)駅が開業し、同時に路線バスの再編が行われ、和歌山大学とふじと台の公共交通体系は変化した。
- ・従来より紀ノ川を越えた市北部では、学生によるバイク事故の多発や住民・大学関係者の自動車依存率の高さが問題となっていた。
- ・市全体で、鉄道、バスなどの公共交通の乗降客数が減少している中で交通機関の賢い使い分けについて意識を高めてもらい、人と環境に優しい地域、大学づくりの絶好の機会として見ている。
- ・『大学・住民を対象としたモビリティ・マネジメント』を実施中である。



2. MM の内容 (平成 24 年 2 月～)

新入生、大学生、住民を対象にコミュニケーションツールを作成し配布中

3. MM の効果測定 (平成 24 年 6 月～)

アンケート用紙を作成し配布



住民用表

住民用裏

掲載内容

- 新入生用
 - ・大学までの地図
 - ・駅の経済的効果を説明
- 在校生用
 - ・公共交通の環境、経済への効果
 - ・交通マナー、安全
 - ・駅から大学までの地図
 - ・バスと鉄道の乗換時刻表
- 住民用
 - ・公共交通の環境、地域、住民への効果
 - ・交通マナー、安全
 - ・難波までの乗継時刻表
 - ・市中心部へ向かうバス時刻表



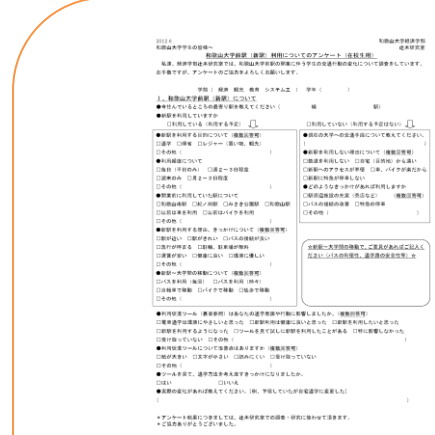
在校生用表 3



在校生用裏 4

ツール配布方法

- ・新入生用は、大学生協の新入生入学案内に同封させてもらい駅開業前の 3 月に配布。約 400 部
- ・在校生用は、入学式後の新入生ガイダンス、大学構内、経済学部各研究室に 4 月、5 月配布。約 1800 部
- ・住民用は、和歌山市役所の広報誌と共にふじと台住民に向け 8 月に配布。約 1000 部



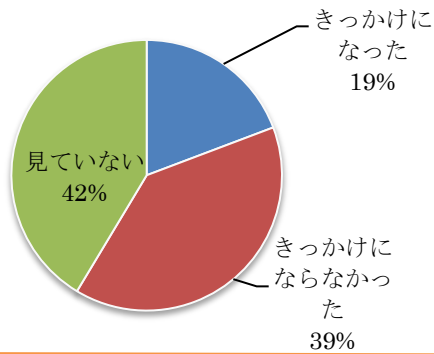
- ・大学生用では、新入生用、在校生用と 2 種類のアンケート用紙を作成。
- ・新駅を利用しているかどうか、利用目的、利用頻度、配布した情報ツールの利用状況などの質問項目を設定。
- ・住民用は、現在作成中であり 9 月に配布。

アンケート配布、回収方法

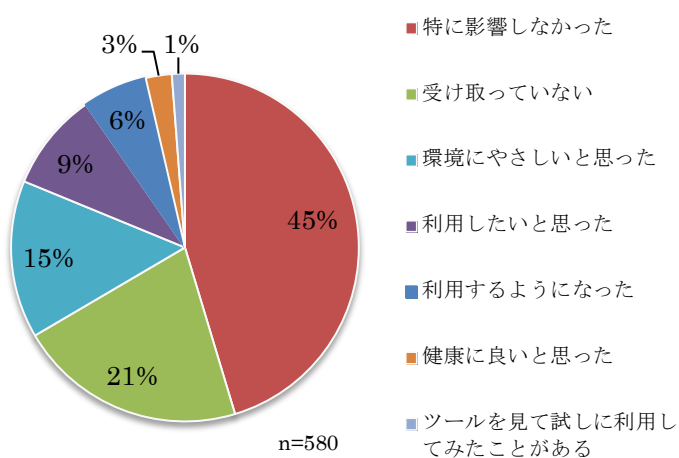
- ・経済学部では、講義中、ゼミ中にお時間をいただき配布、記入、回収を行った。
- ・他学部では、授業中における配布が不可能だったので学生大会の時に自治会の方に協力してもらい配布、記入、回収を行った。
- ・アンケートの配布枚数は、1901 枚、回収枚数 1030 枚回収率は 54%となった。

4. 現在の成果と結論

新入生用ツールを見て通学を考えるきっかけになったか



在校生用ツールは通学意識や行動に影響したか



結論

- ・大学でのツールの配布によって意識、行動の変化に影響を与えることができた。
- 新入生用ツールでは 19%、在校生用ツールでは 15%の人に考えるきっかけや行動変化を促すことができた。
- ・通学生と下宿生の間で交通機関の使い分けに対する意識に差がある。
- 毎日利用している学生にとっては、交通機関の使い分けについての関心が高いが、下宿生はバイク、自動車への依存率は依然と高い。
- ・今現在、アンケート回答者の 50%の学生が駅を利用しており今後も長期的に MM を進めていくことが必要。

課題

- ・効率的なツールの普及方法と見てもらうための工夫
- 新入生用ツールでは回答者の 42%見ていない、在校生用ツールでは回答者の 21%が受け取っていないという結果が出た。
- ・ツールの大きさ見やすさの改善
- ポケットサイズの導入や時刻表における色づかいなどによる工夫が必要。
- ・交通マナーの改善
- 幸い地域住民と学生による交通事故は、発生していないが駅から大学までの標準通学路を守らない、自転車、バイクのマナーが悪いなどの声があった。